

# ◆73◆ 報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

## 日本ピグメント株式会社

Pigment

### 日本ピグメント株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418



この報告書は、環境に配慮し、大豆油インキを使用しています。  
使用されている用紙は、適切に管理された森林からの生産物です。適切  
に管理された森林とは、FSC（森林管理協会）の規定に従い、独立した  
機関により認証された森林を指します。

株主の皆様へ	>>>	02
事業紹介	>>>	03
製品紹介	>>>	04
部門別営業の概況(連結)	>>>	05
連結財務諸表	>>>	06
株式・会社の概要	>>>	08
ご案内	>>>	10
国内拠点	>>>	11
海外拠点	>>>	12
株主メモ	>>>	13

# ゆとりは、色彩から一。

私たちのすむ日本には四季の色があり、  
私たちはこの豊かな色彩に包まれて生活しています。  
私も日本ピグメントは、この豊かな色彩を再現し、皆様に“夢  
と希望”を提供できるよう、  
色彩について日々研究開発に努力しております。  
日本ピグメントの製品は、日常生活のあらゆる場面で、  
“豊かな色彩とゆとり”を皆様に提供しております。

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第73期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の営業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の悪化により輸出が大幅に減少していることに加え、企業収益や家計の雇用・所得環境が悪化する中で、内需も弱まっております。こうした内外の需要動向や、厳しい金融環境を背景に、わが国の景気は大幅に悪化しております。

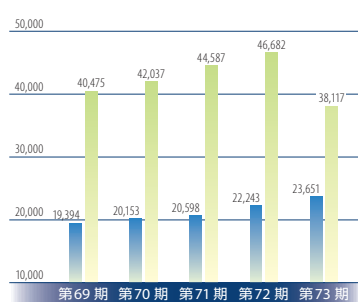
当業界におきましても、昨秋以降の内外需要の急低下を背景とする自動車・家電メーカー等の急激かつ大幅な減産を受け、過去に例をみない程の受注の低迷が続く等、世界的な景気後退の影響を強く受ける状況となっております。このような厳しい経営環境のなか、当社グループでは、急激な需要の落ち込みに対応すべく、工場の稼働休止や生産ラインの集約等、生産体制の見直しに踏み切る他、設備投資の凍結や諸経費の削減等、諸施策を行ってまいりましたが、あまりに急速な需要減少の影響が大きく、大幅な減収減益となりました。このような結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は38,117百万円(前期比18.3%減)となり、経常損失は135百万円(前期経常利益1,744百万円)、また、当期純損失は投資有価証券の評価損計上や一部工場設備等の減損処理もあり、378百万円(前期当期純利益908百万円)となりました。

今後、企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化していくなかで、企業成長へ向けた投資を行っていく一方、株主様への利益還元により企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

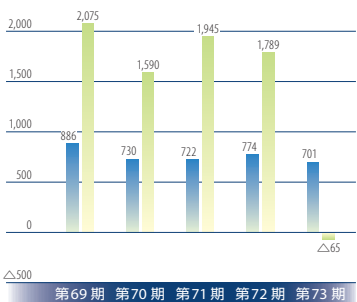
取締役社長 浅羽 幸夫

### 財務ハイライト(連結)

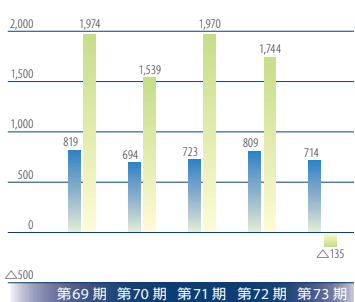
■売上高(百万円) ■中間 ■期末



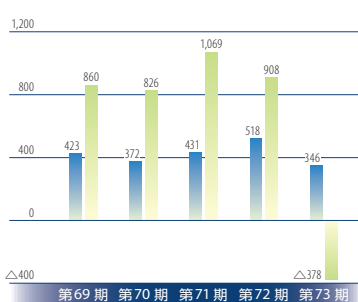
■営業利益(百万円) ■中間 ■期末



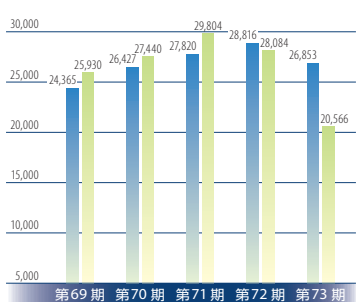
■経常利益(百万円) ■中間 ■期末



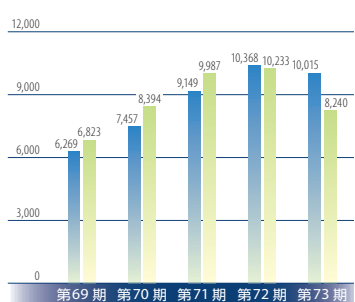
■当期(四半期)純利益(百万円) ■中間 ■期末



■総資産(百万円) ■中間 ■期末



■純資産(百万円) ■中間 ■期末



※第69～72期における中間の純利益は中間純利益です。



## “豊かな色彩とゆとり”を、 日常生活のあらゆる場面に提供しています。

私ども日本ピグメントは、“色”の専門メーカーとして、創業以来、主にプラスチックの着色分野において、日常生活のあらゆる場面で“豊かな色彩とゆとり”を提供しております。私たちの身の回りには、自動車、家電、OA機器、日用品、化粧品など数え切れないほどのプラスチックを使った製品があります。



## 日本ピグメントの強み ～長年蓄積された高度な技術と、高品質へのこだわり～

当社は、お客様の色彩ニーズの満足度向上、品質の維持・向上への追求から自社、グループ内での製造にこだわってまいりました。

このこだわりによって蓄積した、当社独自の着色剤および添加剤の選定・配合技術、コアテクノロジーである高度な分散技術、お客様に満足を提供するための生産技術などのノウハウが、コア・コンピタン

当社は主に、樹脂コンパウンドの分野でプラスチックの成形用材料や着色剤の提供を行っております。当社のカラー化技術は、それらの製品にとって、機能・デザインとともに重要な役割を担っております。

スの源泉となっております。

特に分散技術に関しては、微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等、高度な技術を駆使し、カラーフィルター用、インクジェット用などの先端分野でさまざまな液体分散体を提供しております。

### 樹脂コンパウンド

樹脂コンパウンドとはプラスチックの成形用材料のことで、当社では、最終製品メーカーなどのお客様のご要望に合わせ、合成樹脂に当社独自の技術で着色・高機能化を図り、お客様に提供しております。

樹脂コンパウンドは、お客様のニーズに応じたプラスチックの色・機能に設計しているため、そのまま成形できるという利点があり、主に自動車、家電製品、家庭用品など様々な分野で使用されております。当社では、汎用的な製品から高機能製品まで提供しております。

### 樹脂用着色剤

樹脂用着色剤は、最終製品メーカーなどのお客様にて合成樹脂を着色するためのものであり、お客様のニーズに合わせて、主に加工顔料・マスターバッチを提供しております。

加工顔料は、顔料の分散性などの問題点を改良し、樹脂への着色のしやすさを配慮した顔料であり、マスターバッチは、プラスチックに高濃度の着色剤を練りこみ、プラスチックの成形時に規定の倍率で希釈する樹脂用着色剤です。当社では、自動車関連、家電、日用品、化粧品向けなどのあらゆる分野において、汎用的な製品から紫外線吸収・難燃性などの機能を併せ持った製品まで、お客様の様々なニーズに応じた製品を提供しております。

### ピグメントカラー

プラスチック、インキ等に使用される着色剤には顔料や染料があり、お客様のニーズに応じた製品を提供しております。顔料は水や溶剤・油などに不溶で、プラスチックなどに微粒子で分散させることで着色します。一方、染料は水や溶剤・油などに可溶で、プラスチックなどに溶解することで着色し主に綿・毛・皮革・ナイロンなどの繊維の染色に使用されています。

### インキ・塗料

壁紙、金属、紙関係など多様な用途に適したインキ・塗料を提供しております。なかでも、壁紙用インキでは、環境対策を施した製品設計となっております。

### 高分散型液体分散体

当社では、コア技術の高分散技術、多様な配合技術を連結させた研究開発に取り組んでおり、そのノウハウを活用することで、お客様のご要望に沿った高品質な高分散型液体分散体を提供しております。

主にカラーフィルター用、インクジェット用などの油性タイプの顔料分散体や、環境負荷の少ない水性インキおよびそのメジウム（希釈剤）などの水性タイプの顔料分散体も取扱っております。

特に微細化が要求される当分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等の当社の強みを駆使し、先端分野にも貢献しております。

※「分散」とは、樹脂中に顔料が溶けずに均等に散らばらせること等を言います。



## 樹脂コンパウンド部門

当部門においては、主要ユーザーである自動車・家電産業の急激かつ大幅な生産調整の影響を強く受け、昨秋以降、受注が大幅に落ち込んでおります。このような結果、当連結会計年度の売上高は30,511百万円と前期比17.5%の減少となりました。



## 樹脂用着色剤部門

当部門におきましても、主要ユーザーである自動車関連をはじめとして、家電、日用品などの需要が大幅に落ち込み、医療・繊維の分野は増加したものの、取扱量、収益面ともに予想を大きく下回る結果となりました。このような結果、当連結会計年度の売上高は4,932百万円と前期比25.1%の減少となりました。



## 加工カラー部門

当部門は、既に市場自体が成熟しており、今後の高い成長が望めなくなっております。こうしたなか、自動車関連の大幅な落ち込みに加え、建材関係向けの不振も続き厳しい事業環境となっております。このような結果、当連結会計年度の売上高は2,521百万円と前期比15.3%の減少となりました。



## 連結貸借対照表

（単位 千円）

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	9,182,356	流動負債	8,551,726
現金及び預金	2,172,560	支払手形及び買掛金	3,347,958
受取手形及び売掛金	4,130,370	短期借入金	4,286,643
製品	1,299,685	1年内償還予定の社債	85,120
原材料及び貯蔵品	1,050,874	賞与引当金	238,580
繰延税金資産	167,155	その他	593,424
その他	371,968	固定負債	3,773,686
貸倒引当金	△ 10,258	社債	252,320
固定資産	11,383,770	長期借入金	2,950,404
有形固定資産	8,900,916	長期繰延税金負債	378,391
建物及び構築物	3,695,103	役員退職慰労引当金	192,570
機械装置及び運搬具	1,558,364	負債合計	12,325,412
工具器具備品	153,379		
土地	3,494,070	<b>(純資産の部)</b>	
無形固定資産	56,484	株主資本	8,766,760
借地権	16,716	資本金	1,481,159
その他	39,768	資本剰余金	1,047,700
投資その他の資産	2,426,368	利益剰余金	6,250,571
投資有価証券	1,863,474	自己株式	△ 12,670
長期貸付金	53,537	評価・換算差額等	△ 995,420
長期繰延税金資産	272,152	その他有価証券評価差額金	87,830
その他	307,435	為替換算調整勘定	△ 1,083,251
貸倒引当金	△ 70,230	少数株主持分	469,374
資産合計	20,566,127	純資産合計	8,240,714
		負債及び純資産合計	20,566,127

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位 千円)

科目	金額
売上高	38,117,740
売上原価	35,448,927
売上総利益	2,668,812
販売費及び一般管理費	2,734,643
営業損失	65,830
営業外収益	122,924
受取利息及び配当金	55,380
その他の	67,544
営業外費用	193,000
支払利息	149,614
持分法投資損失	8,339
その他の	35,046
経常損失	135,905
特別利益	11,219
貸倒引当金戻入額	6,535
固定資産売却益	4,684
特別損失	379,092
固定資産売却損	21,245
投資有価証券評価損	62,408
関係会社株式売却損	34,110
減損損失	261,315
その他の	13
税金等調整前当期純損失	503,778
法人税、住民税及び事業税	172,748
法人税等調整額	△ 287,470
少数株主損失	10,248
当期純損失	378,808

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位 千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	630,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 529,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 131,735
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,495,292
現金及び現金同等物の期末残高	1,554,860

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株  
(うち自己株式38,100株)
- 株主数 1,821名

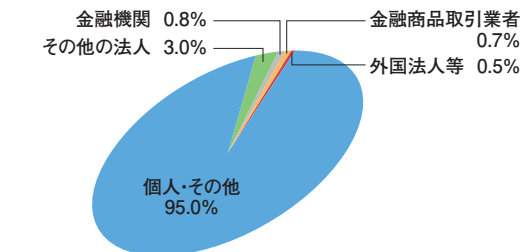
## 大株主の状況 (上位10名)

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本ピグメント取引先持株会	943	5.98
株式会社みずほ銀行	780	4.95
株式会社十六銀行	698	4.43
株式会社みずほコーポレート銀行	610	3.87
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	586	3.72
日本化薬株式会社	519	3.30
東京海上日動火災保険株式会社	492	3.13
株式会社資生堂	492	3.12
株式会社三菱東京UFJ銀行	468	2.97
株式会社ピアンコー	442	2.80

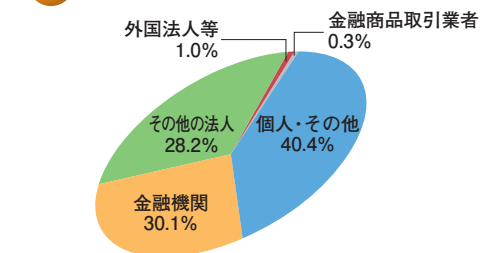
## 概要

会社名 日本ピグメント株式会社  
(Nippon Pigment Company Limited)  
本社所在地 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号  
代表者 取締役社長 浅羽 幸夫  
創業 1925年 (大正14年)  
事業内容 樹脂コンパウンド…プラスチック成形用材料  
樹脂用着色剤…プラスチック着色剤  
加工カラー…塩化ビニール着色剤等  
ピグメントカラー…塗料用、印刷インキ用等  
資本金 14億8,115万円  
株式 東京証券取引所 市場第二部上場

## 所有者別株主比率



## 所有者別株式比率



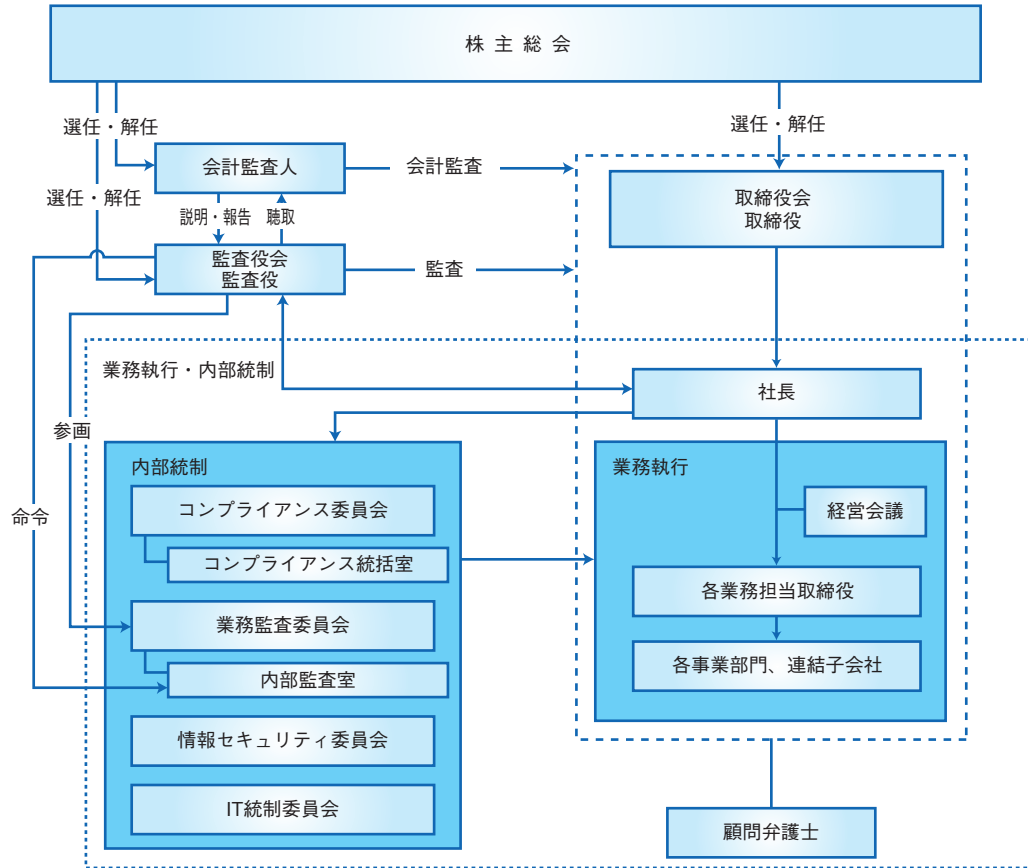
## 役員

代表取締役 (取締役社長)	浅羽 幸夫
代表取締役 (取締役副社長)	島崎 満
常務取締役 (営業本部長)	小林 稔
常務取締役 (生産本部長)	石井 繁雄
取締役 (営業本部副本部長)	赤井 祀充
取締役 (総務部経理部担当兼システム部長)	上野 章
取締役 (法務担当)	井手 讓司
取締役 (開発本部長兼営業本部副本部長)	配島 栄一
取締役 (生産本部副本部長兼埼玉工場長)	加藤 龍巳
監査役 (常勤)	佐藤 恒夫
監査役 (常勤)	柏木 謙吉
監査役	妹尾 正威
監査役	小池 敏彦

● **コーポレートガバナンスの状況**

当社は、経営の健全性・透明性を高めるため公正な経営の実現を重要課題としており、株主・投資家の皆様の信頼に応えるため、最適なコーポレートガバナンスの整備・構築を目指しております。

なお、当社のコーポレートガバナンスの体制は、以下のとおりです。



**当社ホームページのご案内**

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、企業情報、製品情報などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。



[URL] <http://www.pigment.co.jp/>

国内事業所

■ 本社

本社  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号  
TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

■ 営業部門

東京支店  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番16号  
(丸石第二ビル)

大阪支店  
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号  
(扶桑道修町ビル)

名古屋支店  
〒464-0075 名古屋市中種区内山三丁目8番10号  
(明治安田生命今池内山ビル)

■ 生産部門

埼玉川本工場  
〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909番地52

大阪工場  
〒582-0029 大阪府柏原市石川町1番23号



国内グループ会社

■ 生産部門

東京ピグメント株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

ニッピ化成株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

日本プリントインキ株式会社  
〒360-0005 埼玉県熊谷市今井1035

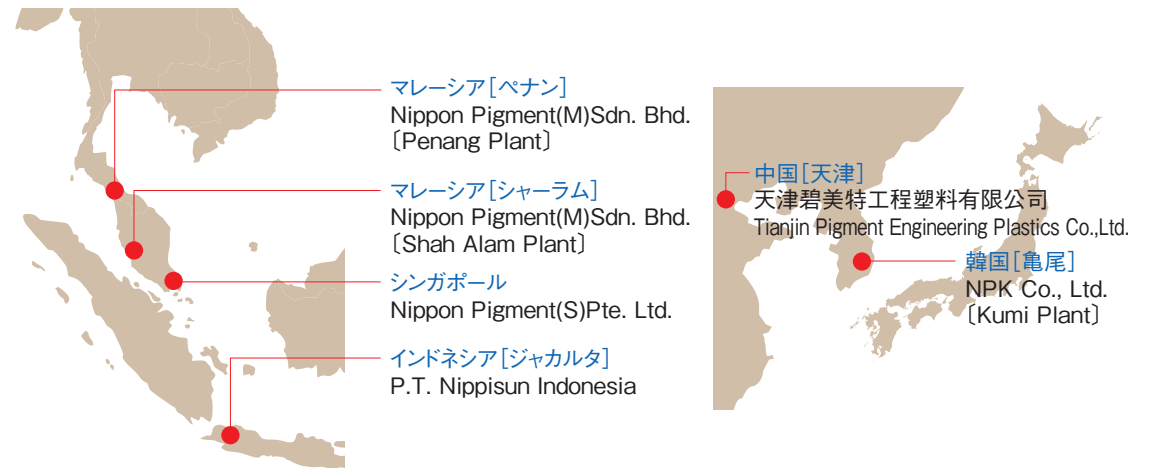
名古屋ピグメント株式会社  
〒484-0952 愛知県犬山市上舞台62番地の1

大阪ピグメント株式会社  
〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町6番地11

三和カラーリング株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原代の上138番6

海外

Nippon Pigment (S) Pte.Ltd.	1Pioneer Place Singapore 627866
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Head Office and Penang Plant]	NO. 2479, MK1, Lorong Perusahaan 8b, Prai Industrial Estate 13600 Prai, Penang, Malaysia
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Shah Alam Plant]	PT14533, Jalan Jenjarum 28/39A, Seksyen 28, 40400 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia
P.T.Nippisun Indonesia	1-1 block I. Kawasan Industri MM2100 Cibitung Bekasi 17520 West Java Indonesia
天津碧美特工程塑料有限公司 Tianjin Pigment Engineering Plastics Co.,Ltd.	G1 Hongtai Industrial Estate, No.78, Taihua Rd, TEDA Dist, Tianjin, 300457, China
NPK Co.,Ltd. [Kumi Plant]	623-14, Kupo Dong, Kumi City, Kyeong Buk, Korea



- 上 場 取 引 所 東京証券取引所 市場第二部
- 証 券 コ ー ド 4119
- 単 元 株 式 数 1,000株
- 事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定 時 株 主 総 会 6月中
- 基 準 日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料  
無料
- 公 告 掲 載 方 法 電子公告といたします。  
当社ホームページアドレス  
<http://www.pigment.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告することができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

## 【お知らせ】

### 1. 株券電子化によるご注意

(1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

(3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしました当社専用の「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

(4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

## 【株式に関するお手続きについて】

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取（買増）請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定（*）	特 別 口 座 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株 主 名 簿 管 理 人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)  ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(\*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	